



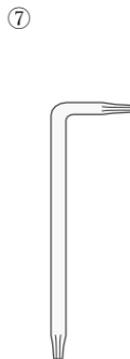
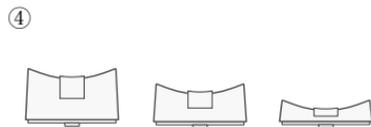
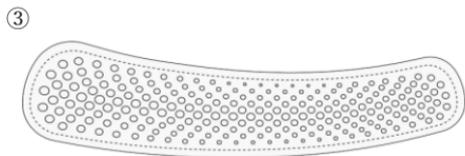
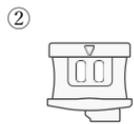
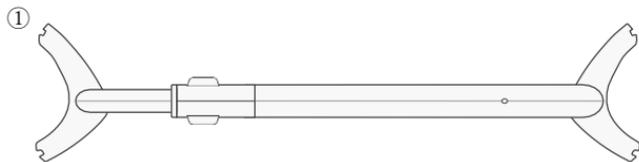
**KUN**  
*seven*

取扱説明書

# はじめに商品を確認してください

万が一、欠品などがございましたら、購入元にご連絡をお願いします。  
また、付属品および取扱説明書などは大切に保管してください。

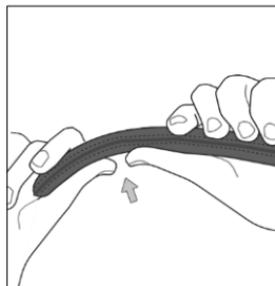
- ① ブリッジ
- ② 連結ジョイント(パッドに装着済)
- ③ パッド
- ④ アダプターブロック 大・中・小 3点(小はパッドに装着済)
- ⑤ プラスチックワッシャー 3点(うち1点はパッドに装着済)
- ⑥ ネジ 大・中・小 各2点 合計6点(小はパッドに装着済)
- ⑦ レンチ



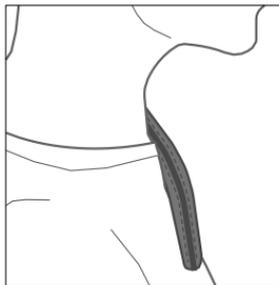
# 1. パッドを調節する



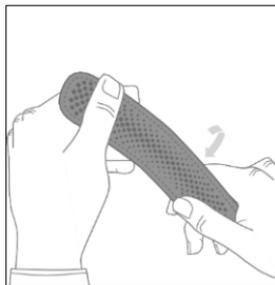
③パッドを肩に置いて位置や形を確認します。



③パッドの形を調節するには、③パッドの両端を持ち慎重に動かして調節します。

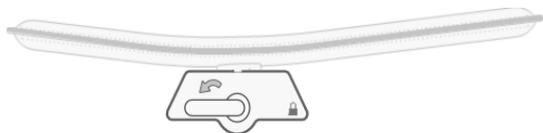


肩と③パッドの間に隙間が入らないようぴったりフィットするように調節しましょう。



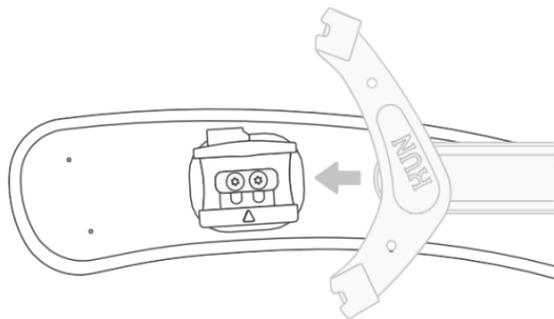
鎖骨の湾曲に沿わせるには、後部をやさしく捻じります。

## 2. パッドをブリッジにスライドさせ取り付ける。

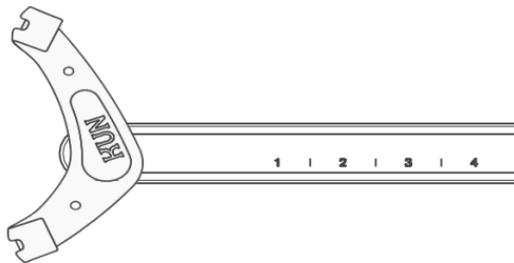


Kun seven のパッドには、②連結ジョイントが取り付けられています。このジョイントには、③パッドと①ブリッジをつなげる役割があります。

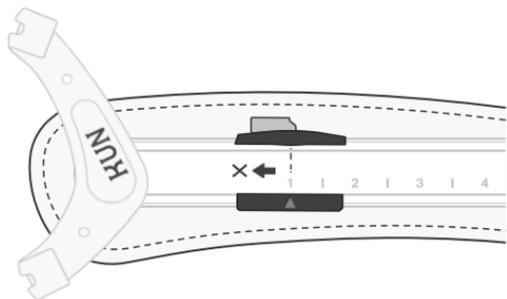
はじめに、レバーがロックされていない状態であることを確認してください。



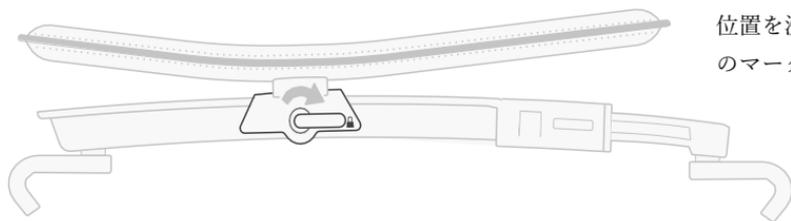
①ブリッジを②連結ジョイントに貫通するようにスライドさせます。



①ブリッジには、1 から 7 までのメモリがあります。演奏スタイルに応じて、③パッドの位置を調節してください。参考までに、Kun Original モデルはブリッジの 4.5 の位置になります。

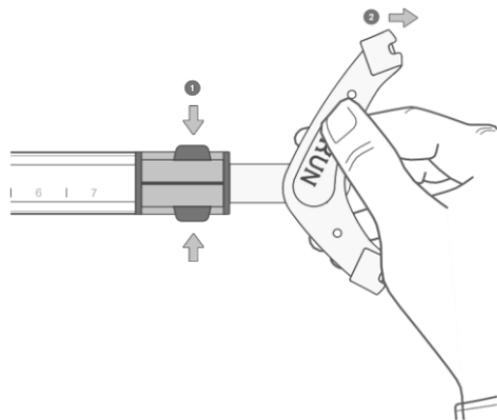


③パッドの位置を 1 メモリより前に調節するのはお控えてください。①ブリッジ先端部との距離が近すぎて肩当が使用できなくなります。

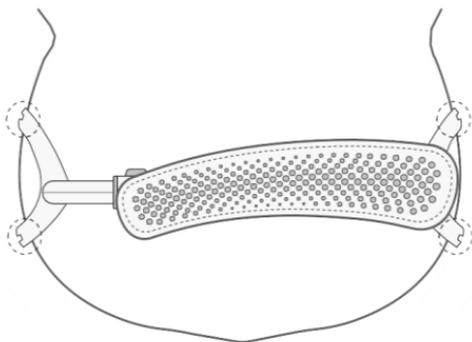


位置を決めたら、②連結ジョイントにあるレバーを南京錠のマークまで 180 度回転させます。

### 3. Kun Seven をヴァイオリンに取り付ける



①のラチェットスライダーボタンを両側から押しながら、②の方向へ脚を引っ張ります。

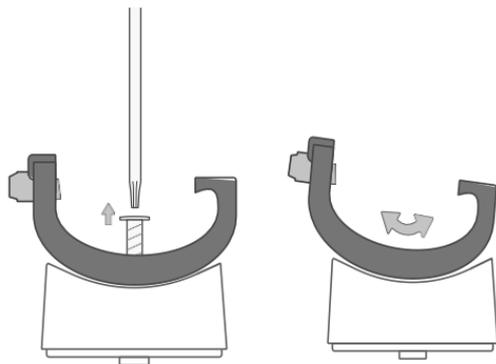


肩当を裏板に取り付けていきます。

まず引き伸ばした脚をヴァイオリンの左側に引っ掛けます。③パッドを動かし右側も脚を引っ掛けます。①ブリッジが短くなるとクリック音が連続して聞こえてきます。

両端がしっかり届いたら、①ブリッジの位置を確認します。この位置でよければ、両端の脚を最後のはっきりとしたクリック音が鳴るまで、しっかり押し込みます。位置を調節するには、ラチェットを緩めてから脚を調節してください。脚部のグリップがしっかり効いていることを確かめてください。

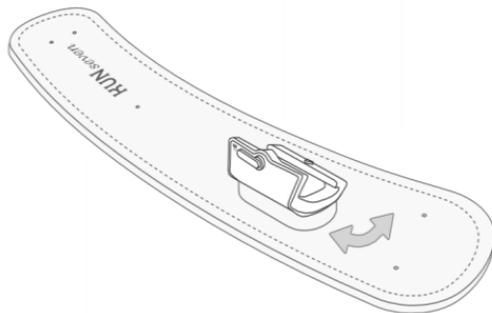
## 4. 角度を変える



肩に触れる③パッドの角度が合わない場合は、③パッドの角度変えてみましょう。

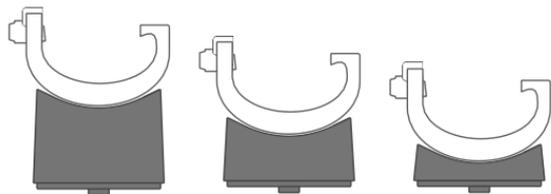
まず、③パッドを①ブリッジからはずします。

②連結ジョイントには2本の⑥ネジが付いています。同梱の⑦レンチを使用して⑥ネジを少し緩めると、②連結ジョイントに遊びができ、可動範囲内で②連結ジョイントを回転させることができます。調節後はしっかりと⑥ネジを締めます。

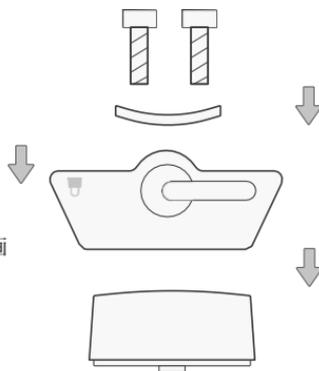


連結ジョイント角度変更動画

## 5. 高さを変える



アダプターブロック変更動画

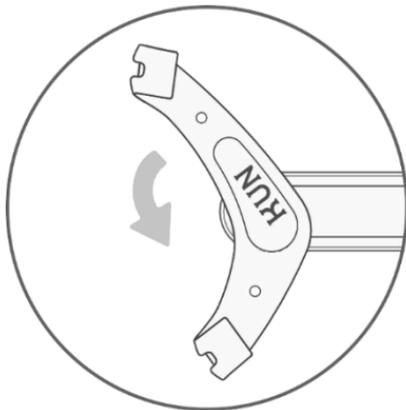


Kun Seven には、④アダプターブロックが②連結ジョイントと③パッドの間に取り付けられています。本製品には、大中小3種類の高さの④アダプターブロックが同梱されており、適宜変更することが可能です。それぞれに対応した大中小の⑥ネジを使用してください。

④アダプターブロックを交換するには、②連結ジョイントをはずす必要があります。はずす前に②連結ジョイントの角度をしっかりと覚えておくと、高さの調節後と同じ角度に戻しやすくなります。

次に⑥ネジと同梱の⑦レンチで緩めて②連結ジョイントからはずします。次に②連結ジョイントを③パッドからはずします。③パッド上の小アダプターブロックをはずし、必要に応じて大中サイズの④アダプターブロックと交換します。

④アダプターブロックが装着できたら②連結ジョイントをその上に配置し、その次に⑤ワッシャーを乗せ、対応するサイズの⑥ネジをはめ込みます。ネジを完全に締める前に、ステップ4の角度を調節します。最後に⑦レンチでしっかり締めます。

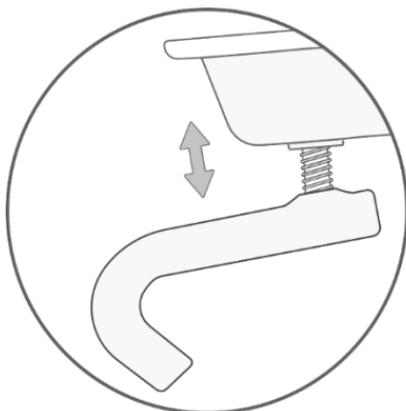


Kun Seven の脚部を使って高さを微調節することができます。

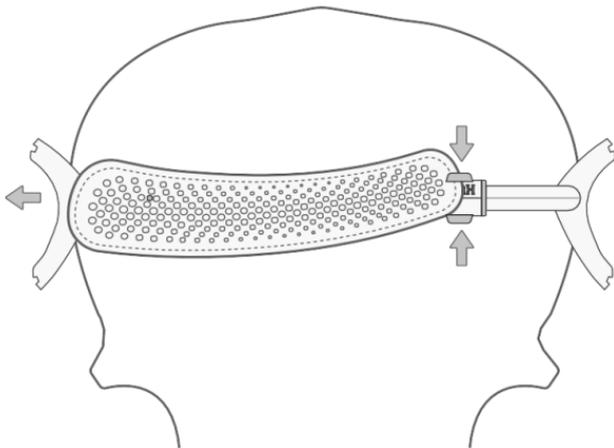
まず、脚部が完全に締められた状態にし、反時計回りに360度最大で4回まで回転させます。

安全性に支障をきたすため、それ以上は緩めないでください。

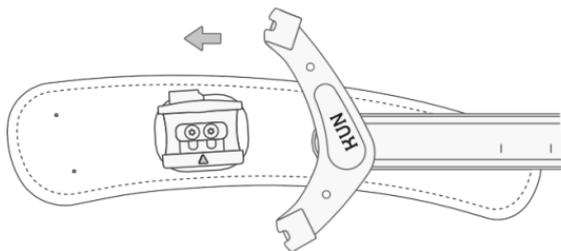
この微調節よりも高さが必要な場合は、④アダプターブロックの交換をしてください。



## 6. Kun Seven をはずす



Kun Seven をはずすには、楽器をしっかり持ちながらラチェットボタンを両側から押し、脚を引き伸ばしてください。  
脚部が緩んで楽器からはずせます。



よりコンパクトに保管したい場合は、レバーを開放し、③パッドを①ブリッジからスライドさせると分解できますが、事前に①ブリッジ上の③パッドの位置を覚えておくようにしましょう。

日本総輸入発売元

株式会社 **S.I.E.**  
STRING INSTRUMENT EXPERT

〒171-0043 東京都豊島区要町 2-4-8 3F  
TEL 03-5965-6333(代) FAX 03-5965-6334  
URL <https://www.siejapan.com>